

東京工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	体育Ⅲ
科目基礎情報					
科目番号	0072		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	物質工学科		対象学年	3	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	ステップアップ高校スポーツ 大学生の健康・スポーツ				
担当教員	黒田 一寿				
到達目標					
各種のスポーツ活動や体力テストなどの実践体験を通じて、健康づくり、体づくり、仲間づくり、生きがいくりの導入を目標としている。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	積極的に授業に参加し、スポーツ活動を楽しみリフレッシュする。		継続的に授業に参加し、スポーツ活動に主体的に取り組む		欠席が多く、無気力な授業参加
評価項目2	自らの健康づくりや体づくりを、授業や学校生活の中で実践する		自らの健康づくりや体づくりへの知識と関心を持つ		自らの健康や体力に無関心
評価項目3	仲間づくりや生きがいくりを授業や学校生活の中で実践する		仲間づくりや生きがいくりの必要性を理解し、体験する		仲間づくりや生きがいくりに無関心
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	3年生は、体力テストの結果を自らの身体や健康づくり、体づくりへ活用し、各種のスポーツ体験を通して専門技能やコミュニケーション能力を獲得することを目的とする。また、生涯スポーツの実践に向けて、スポーツに親しむ習慣を身につける。				
授業の進め方・方法	体育Ⅲの到達目標を達成するため、前期は体力テストやバスケットボール、トレーニング、水泳、後期はサッカー、バレーボールを実践する。				
注意点	授業は運動が出来る服装や運動靴（体育館は指定上履き）で受講すること。用具の準備、ウォーミングアップ、仲間との協力・交流、クールダウン、用具の片付け、掃除等についても、技術や体力アップと同様に、積極的に主体的な行動が求められる。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス	1年間の内容と方法を理解する	
		2週	体力テスト①	体力テストについて理解し、正しい測定方法でベストを発揮する	
		3週	体力テスト②	体力テストについて理解し、正しい測定方法でベストを発揮する	
		4週	体力テスト③	体力テストのまとめ、記入データの確認	
		5週	バスケットボール①	ルールの理解および基本プレーの習得を目指す	
		6週	バスケットボール②	基本技術を、ゲームの中で実践する	
		7週	バスケットボール③	リーグ戦を通して、チームプレーを確認する	
		8週	バスケットボール④	リーグ戦を通して、チームプレーを確認する	
	2ndQ	9週	実技テスト	基本的なスキルを確認する	
		10週	選択種目	希望の種目を選択し、リフレッシュする	
		11週	水泳&トレーニング①	四泳法の確認&トレーニングの原理の理解と実践	
		12週	水泳&トレーニング②	タイム測定&部位別トレーニング①	
		13週	水泳&トレーニング③	タイム測定&部位別トレーニング②	
		14週	水泳&トレーニング④	個人メドレー & 部位別トレーニング③	
		15週			
		16週			
後期	3rdQ	1週	サッカー①	ルールの理解および基本プレーの習得を目指す	
		2週	サッカー②	基本技術を、ゲームの中で実践する	
		3週	サッカー③	リーグ戦を通して、チームプレーを確認する	
		4週	サッカー④	リーグ戦を通して、チームプレーを確認する	
		5週	サッカー⑤	リーグ戦を通して、チームプレーを確認する	
		6週	実技テスト	基本的なスキルを確認する	
		7週	選択種目	希望の種目を選択し、リフレッシュする	
		8週	バレーボール①	ルールの理解および基本プレーの習得を目指す	
	4thQ	9週	バレーボール②	基本技術を、ゲームの中で実践する	
		10週	バレーボール③	リーグ戦を通して、チームプレーを確認する	
		11週	バレーボール④	リーグ戦を通して、チームプレーを確認する	
		12週	バレーボール⑤	リーグ戦を通して、チームプレーを確認する	
		13週	実技テスト	基本的なスキルを確認する	
		14週	選択種目	希望の種目を選択し、リフレッシュする	
		15週	選択種目	希望の種目を選択し、リフレッシュする	
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

分野横断的 能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	相手の意見を聞き、自分の意見を伝えることで、円滑なコミュニケーションを図ることができる。	3	前1,前5,前6,前7,前8,前9,後1,後2,後3,後4,後5,後8,後9,後10,後11,後12
				集団において、集団の意見を聞き、自分の意見も述べ、目的のために合意形成ができる。	3	前5,前6,前7,前8,前9,後1,後2,後3,後4,後5,後8,後9,後10,後11,後12
				目的達成のために、考えられる提案の中からベターなものを選び合意形成の上で実現していくことができ、さらに、合意形成のための支援ができる。	3	前5,前6,前7,前8,前9,後1,後2,後3,後4,後5,後8,後9,後10,後11,後12
	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	身内の中で、周囲の状況を改善すべく、自身の能力を発揮できる。	3	前5,前6,前7,前8,前9,後1,後2,後3,後4,後5,後8,後9,後10,後11,後12
				集団の中で、自身の能力を発揮して、組織の勢いを向上できる。	3	前5,前6,前7,前8,前9,後1,後2,後3,後4,後5,後8,後9,後10,後11,後12
				日常生活の時間管理、健康管理、金銭管理などができる。常に良い状態を維持するための努力を怠らない。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後7,後8,後9,後10,後11,後12
				ストレスやプレッシャーに対し、自分自身をよく知り、解決を試みる行動をとることができる。日常生活の管理ができるとともに、目標達成のために対処することができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12
				チームワークの必要性・ルール・マナーを理解し、自分の感情の抑制、コントロールをし、他者の意見を尊重し、適切なコミュニケーションを持つとともに、当事者意識を持ち協調して共同作業・研究をすすめることができる。	3	前5,前6,前7,前8,前9,後1,後2,後3,後4,後5,後8,後9,後10,後11,後12
				組織やチームの目標や役割を理解し、他者の意見を尊重しながら、適切なコミュニケーションを持つとともに、成果をあげるために役割を超えた行動をとるなど、柔軟性を持った行動をとることができる。	3	前5,前6,前7,前8,前9,後1,後2,後3,後4,後5,後8,後9,後10,後11,後12
				先にたって行動の模範を示すことができる。口頭などで説明し、他者に対し適切な協調行動を促し、共同作業・研究をすすめることができる。	3	前5,前6,前7,前8,前9,後1,後2,後3,後4,後5,後8,後9,後10,後11,後12,後14,後15

評価割合							
	体力テスト	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	10	0	0	20	0	70	100
基礎的能力	10	0	0	20	0	70	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0